

令和5年度草津市水道事業報告書

(1) 概 況

イ 総括事項

本市の水道事業においては、令和4年度からスタートしました「第2次草津市水道ビジョン〔経営計画（経営戦略）〕」に基づき、安全で安心な水道水を安定して供給し続けるため、施設や管路の老朽化、将来的な水需要の減少見通しなどの諸課題の解決を図り、公営企業としてより効率的で透明性の高い事業実施に努めております。

本年度は、災害時においても安定して水を提供できるよう、施設面では、北山田浄水場配水池の耐震補強工事およびロクハ浄水場旧館の浸水対策工事を実施し、管路面では、管路の更新工事にあわせて耐震化を進めました。

組織体制面では、熟練者から若年者への内部研修や近隣他市町との合同研修の実施、また各種外部研修への参加などにより、技術継承を図りました。

経営面では、令和4年度に引き続き、電気代の高騰などの経費の増加がありましたが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した財源確保などにより、当期純利益を確保し、水道料金の10%還元を継続実施しました。

令和6年1月1日に発生しました能登半島地震で再度強く認識させられましたように、「水道」は住民の命や生活を支える最重要のライフラインであるため、今後も引き続き、施設の耐震・浸水、管路の更新等の対策を遅れることなく着実に実施しつつ、次世代に向けたより一層効率的な事業運営と経営基盤の強化に取り組むとともに、水道水の大切さや安全性のPRを行うなど、本市の水の啓発と利用促進にも努めてまいります。

(給水および業務状況)

本年度の給水状況としましては、年間配水量は約1,623万 m^3 で前年度比0.5%減、有収水量については約1,574万 m^3 で前年度比0.1%減、有収率は前年度より0.3ポイント増加し96.9%となりました。

依然、全国平均を上回る有収率を維持しており、引き続き、主要配水管を対象とした漏水調査や、計画的な老朽管更新を進めてまいります。

収益的収支の状況については、収益額が24億3,691万3,857円、費用額が21億4,638万7,499円で、差引2億9,052万6,358円の純利益を計上しています。この未処分利益剰余金については、減債積立金に1億4,526万円を積み立て、1億4,526万6,358円を建設改良積立金に積み立てる予定です。

一方、資本的収支については、収入額2億4,385万83円に対し、支出額は15億4,725万1,282円となり、差引13億340万1,199円の不足が生じました。この不足額については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1億430万8,567円、減債積立金1億6,162万円、建設改良積立金1億6,162万6,915円ならびに損益勘定留保資金8億7,584万5,717円で補てんしました。

また、北山田浄水場配水池耐震補強工事については、地方公営企業法第26条第1項の規定により1億6,624万4千円を令和6年度に繰り越しました。

なお、水道事業のため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、513万7,892円となっています。

区 分		令和5年度	令和4年度	増 減	増減比率
給 水 件 数		36,586 件	36,237 件	349 件	1.0 %
配 水 量	総 量	16,232,905 m^3	16,313,500 m^3	△ 80,595 m^3	△ 0.5 %
	一日最大	51,142 m^3	49,171 m^3	1,971 m^3	4.0 %
	一日平均	44,352 m^3	44,695 m^3	△ 343 m^3	△ 0.8 %
有 収 水 量		15,736,405 m^3	15,754,588 m^3	△ 18,183 m^3	△ 0.1 %
有 収 率		96.9 %	96.6 %	0.3 %	—